

荒神川都市基盤河川改修事業の概要と進捗状況や今後の予定など

都市安全部 公園河川課

1 概要

荒神川は過去から度重なる浸水被害に見舞われており、昭和 58 年 9 月 26 日～28 日台風 10 号により連続雨量 364mm 最大時間雨量 64mm を記録した。この豪雨により床上 9 戸、床下 1223 戸の浸水、国道 176 号の一部を通行止め及び宝塚ファミリーランドの冠水等の被害を受けた。また、当該河川流域の一部は隣接の大堀川へ流入しており、大堀川流域において浸水被害を引き起こす要因となっている。

このため、沿川浸水被害を防止すること及び当該河川が隣接河川に及ぼす影響から、治水安全度 1/10 の整備を目標とした河川整備を進め、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する。

事業区間：武庫川合流部～荒神橋まで

事業延長：990m

計画流量：39 m³/s～36 m³/s（現況 13 m³/s）

計画規模：10 年確率

事業期間：平成 7 年度～令和 2 年度（延伸予定）

事業費：40 億円（国・県・市 各 1/3 負担）

2 進捗状況

(1) 令和元年度

事業費：8,408 千円

事業内容：新荒神橋～安場橋までの間、約 170m の測量設計等業務委託
（路線測量、現地調査、詳細設計、土質調査 2 箇所等）

(2) 令和元年度末累積施工延長：630m

(3) 令和元年度末整備率：約 64%（630m／990m）

3 今後の予定

(1) 令和 2 年度

事業内容：新荒神橋以北、約 50m の河川改修工事及び令和 3 年度施工予定箇所の支
障物移設補償、家屋調査

(2) 令和 3 年度

事業内容：安場橋以南、約 30m の河川改修工事

荒神川都市基盤河川改修事業平面図



標準断面図
(令和3年度実施予定箇所)

